

おおはる

oharu gikai

議会だより

●発行 大治町議会
〒490-1192
愛知県海部郡大治町大字馬島字大門西1番地の1
TEL 052 (444) 2711 (代) FAX 052 (444) 0086
E-mail: gikaijimukyoku@town.oharu.lg.jp
●編集 議会広報特別委員会
●発行日 令和2年10月23日

No.168

8月臨時会
&
9月定例会



参観する保護者を限定し、
午前中だけの開催でした。

全力で疾走 —中学校体育祭—

引き続き

コロナ対策に全力

令和元年度決算を認定

8月臨時会を8月6日に開き、補正予算（夏季授業支援補助金）と、小中学校の全児童生徒がタブレットを使用して学習するために、通信ネットワークを整備するなどの工事請負契約を可決しました。
9月定例会は9月2日に開会し、24日までの23日間の会期で行いました。「令和元年度一般会計決算」など、15議案を原案のとおり可決・認定しました。
また、「地方税財源の確保を求める意見書」など2本の意見書を可決し、「地方自治体のデジタル化の推進を求める意見書」は総務建設常任委員会で閉会中も審査することとしました。

— 8月臨時会 —

▼夏季授業支援補助金

1415万9千円

8月の小中学校の給食費相当額を補助します。

▼校内通信ネットワーク整備等工事

9768万円

契約先：神田通信機株式会社 名古屋支店

工期：令和3年2月28日まで

— 9月定例会 —

新型コロナウイルス感染症対策（補正予算）

▼保育環境改善等事業費補助金

200万円

申請のあった保育園3園、認定こども園の計4園に、空気清浄機やマスク、消毒液などの購入費を補助します。

▼児童福祉施設等職員応援金

90万円

保育園4園、認定こども園、幼稚園2園と小規模保育所2園の計9園に、職員の慰労や福利厚生に充てるため、各10万円を支給します。

▼大型冷風機購入・設置費用（小中学校）

707万3千円

各小中学校の体育館と中学校の体育館・柔剣道場にそれぞれ2台設置します。

▼コミュニティセンターの備品購入費

50万1千円

消毒液用のペダル式スタンド各1台と、和室などで使用する間仕切り用アクリル板を購入します。



▼小中学校の備品購入費

523万5千円

空気清浄機、サーキュレーターなどを購入します。

▼公民館の消耗品購入費

10万4千円

消毒用品を購入します。

▼インフルエンザ予防接種費用負担軽減助成費

672万円

生後6か月から中学3年生までと妊婦に対して、1人当たり1500円を1回限り助成します。

▼議場（録画）システム整備業務委託料

1287万円

本会議を録画して公開するための整備費用です。

令和元年度の主要事業

※万円未満は四捨五入

1525万円

地域子育て支援拠点事業

ダウンロードQR

765万円

ハザードマップを作成

174万円

街路灯をLED化

5億652万円

小中学校にエアコンを設置

小中学校の普通教室と特別教室にエアコン機器を設置しました。

1億4190万円

大治西小学校のトイレを改修

洋式化・乾式化しました。これでほぼすべての小中学校のトイレの環境改善が完了しました。

1億4040万円

スポーツセンターメインアリーナ天井などを改修

天井を撤去し、空調と照明設備を改修しました。



現地を調査

▼子育て支援施設造成工事
(花常字福島地内)
1738万円

▼都市計画道路
堀之内砂子線整備工事
2400万円減額

寄附された土地に施設を建設するため、造成します。

県の補助金減額に伴い、当初の整備計画90mを60mに変更します。

議案質疑

ダイジェスト

令和2年度
一般会計補正予算

影響はどうか

質問 堀之内砂子線の県補助金が減額された。工期に影響はないか。

答弁 今回の補助金内示を受け、工期が1年ほど延びると考えている。

補助するのか

質問 北間島集会所の下水道接続費用を補助するが、内容は。

また、他の地区も同様に補助していくのか。

答弁 補助は工事費のみで、受益者負担金や下水道使用料は含まれていない。下水道の接続を推進していくため、今後、他の地区集会所も補助していく考えである。

申請方法は

質問 コロナ対策として行うインフルエンザ予防接種の補助金の申請方法は。

答弁 接種後、申請書と領

収書を保健センターに提出していただく。後日、指定口座へ振り込みとなる。

令和元年度
一般会計決算の認定

学校施設の長寿命化計画

質問 学校施設の長寿命化計画が策定された。今後の整備計画をどのよう

に検討しているのか。

人件費を補助金として支出しているため、反対する。

●賛成討論 松本英隆
子育て支援を充実させ、幼児教育・保育の無償化など、環境整備が図られた。災害対策として、防災ハザードマップを更新するなど、大規模災害に備えた施策も実施しており、決算に賛成する。

●反対討論 吉原経夫
町と社会福祉協議会は、ある程度つながりがあると考える。そこに事務局長の

	議 案 ※議長は採決に加わりません	賛成	反対	議決結果
8月臨時会	令和2年度 一般会計補正予算（第6号）	10	0	可決
	工事請負契約について（校内通信ネットワーク整備等工事）	10	0	可決
9月定例会	使用料及び手数料条例の一部改正	10	0	可決
	特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正	10	0	可決
	令和2年度 一般会計補正予算（第7号）	10	0	可決
	令和2年度 介護保険特別会計補正予算（第1号）	10	0	可決
	令和2年度 後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	10	0	可決
	令和2年度 下水道事業会計補正予算（第1号）	10	0	可決
	令和元年度 一般会計決算	9	1	認定
	令和元年度 国民健康保険特別会計決算	9	1	認定
	令和元年度 土地取得特別会計決算	10	0	認定
	令和元年度 介護保険特別会計決算	9	1	認定
	令和元年度 公共下水道事業特別会計決算	10	0	認定
	令和元年度 後期高齢者医療特別会計決算	9	1	認定
	工事請負契約（スポーツセンター屋根外壁等改修工事）	10	0	可決
	町道路線の認定（西條・殿池7号線、長牧・中道7号線）	10	0	可決
	令和2年度 一般会計補正予算（第8号）	10	0	可決
	地方自治体のデジタル化の着実な推進を求める意見書	*	*	継続審査
新型コロナウイルス感染拡大に対する緊急対応を求める意見書	1	9	否決	
P C R等検査の拡充など感染症対策を早急に求める意見書	1	9	否決	
新しい時代の学びの環境整備を求める意見書	1	9	否決	
定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書	10	0	可決	
新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書	10	0	可決	

議会報告会 延期のお知らせ

例年秋に開催しておりますが、新型コロナウイルス感染防止のため、延期いたします。日程が決まりましたら、町ホームページなどでお知らせいたします。

12月定例会 日程（案）

2日（水）開会 上程・提案説明

7日（月）一般質問

8日（火）質疑など

10日（木）総務建設常任委員会
予算決算常任委員会（総務建設分科会）

11日（金）文教厚生常任委員会
予算決算常任委員会（文教厚生分科会）

18日（金）予算決算常任委員会
採決など 閉会

※開会は午前10時です。

日程は変更となる場合があります。

定例会日程は、町ホームページでも確認していただけます。

ずばり直言！ 一般質問

一般質問とは、議員が自身の考えや町民の声をもとに、町政全般について質問することです。質問と答弁を要約してお知らせします。

コンビニ交付サービスの導入を



手嶋いずみ議員

コロナ禍において、役場に出向かず非対面で、マイナンバーカードを利用して住民票などいつでもどこでも全国のコンビニなどで取得できるものである。国は、デジタル化をより進めていく予定である。利便性の高いサービスを増やすことが重要ではないか。

導入はまだ考えていない

町長 平日の住民票などの交付は、待ち時間短縮に努めている。土日・祝日には公民館にて、住民票と印鑑登録証明書を交付しており、町民の利便性を図っている。コンビニ交付サービスの導入は、費用対効果の面で、時期尚早ではないかと考えている。

避難所に開設キットの配置を



後藤麻美子議員

災害時に避難所を速やかに開設し、円滑な運営ができることが重要である。案内標識一式や運営スタッフが着用するベスト、懐中電灯など、各避難所に「避難所開設キット」を配置してはどうか。町長の考えは。

各避難所に配置している

町長 現在、各避難所に必要な物は、ひとまとめにしてボックスに入れて保管している。コロナ禍では、必要な物やマニュアルなども変わってきているので、随時、追加して対応していく考えである。

コロナ対策の個人向け支援の広報は



吉原経夫議員

新型コロナウイルス感染症対策支援のうち、個人が申請するものとして、国民健康保険税や介護保険料の減免、町民税の徴収猶予や小中学生の就学援助などがある。これらは、どのように広報し、どの程度利用されているのか。また、コロナ禍で生活が困窮した場合、様々な支援金がある。わかりやすく、町民に紹介すべきではないか。

ホームページ、広報ほかでも周知

町長 保険証更新時、納税通知の機会にチラシを同封し、周知をおこなってきた。現在まで94件の申請を受けている。町民や事業者からの問い合わせや相談には、個別に対応をしている。町教育長 就学援助は、4月に小中学校の児童生徒に案内文を通知した。



心配される季節性インフルエンザの流行

アフターコロナに向けた学校や教育を問う



健児議員

①ICT教育環境の具体的な目標は。②SNSでのいじめや犯罪に対する防止策は。③各小中学校の給食室にエアコンを設置してはどうか。④コロナ禍での学校行事は。⑤休校の影響による教育内容の履修に不具合はないか。また、土曜日や冬休みの授業の予定は。

日々対策を検討し、配慮している

教育長 ①情報活用能力の育成、個別最適化の学習。②ネットモラル教育の開催や指導を徹底している。③今夏に冷風機を設置。④十分な感染症対策をし、できる限り実施していく。⑤従来の学習内容はおおむね終えることができた。土曜日や冬休みなどの授業は考えていない。

インフルエンザ予防接種に補助金を



松本英隆議員

季節性インフルエンザの流行が心配される。新型コロナウイルスの予防接種は今のところできないが、インフルエンザの予防接種は可能である。万が一、両方に感染すると重症率が高くなる可能性がある。全町民が、インフルエンザの予防接種をするための補助金を求める。

費用の助成を検討していく

町長 新型コロナウイルスとインフルエンザの同時流行が心配される。医療現場の混乱を防ぎ、医療体制を確保する目的で、インフルエンザ予防接種の費用の助成を早急に検討していく。

※議会最終日に、対象者を限定した補正予算を可決しました。

地域コミュニティの活性化、自治推進の考えを問う



鈴木康友議員

地域コミュニティの減少、役員のなり手不足が問題となっている。転入者が多く、都市化が進む地域コミュニティ運営を問う。①コミュニティの情報を発信できる媒体発行の考えはないか。②役員の負担が大きい配布物や集金など、業務内容の変更の考えはないか。

情報共有を行っている

町長 ①実施する行事内容、活動実績などを掲載した広報誌を、各地域のコミュニティ推進協議会が発行している。②配布物は、総代会にて検討していきたい。字費（町内会費）は、各地域の取り決めであるため、町は関与していない。

資源物回収拠点の増設は



若山照洋議員

役場の北側にある、資源物回収拠点「MOTTAINAI」。利用者も多く、役場の駐車場に空きがない時や、近くが空いてない時には、路上や緊急車両の車庫前に止めて利用する方もいる。町内には民間の回収ステーションも数カ所あるが、町として、新たな回収拠点を増設する考えはないか。

今後、増設を検討していく

町長 今のところ資源物回収拠点を、他に何カ所か増設することは難しい。昨年度の実績では、1日平均330人程度も利用がある。今後は、増設の検討も含めて、利用環境の向上に努めていきたい。



利用者が絶えない「MOTTAINAI」

議会活動を報告

発電機や衛星電話などの使用訓練を実施 9月10日

災害時を想定して、各避難所には役立つ道具が常に配置されている。その中には、電気や電話が使えなくなった時のために、ガソリンを燃料とした発電機や人工衛星を使って通信を行う衛星電話などがある。初見ではなかなかうまく使えないので、防災危機管理課に、使い方を教えてもらった。

議会としても有事の際には、避難所運営など行政のサポートに、より努めていく。



長寿と健康を祝して

今回は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、敬老会が中止になりました。

敬老の日を迎えられました皆様に、心よりお祝いを申し上げます。これからも末永く、健康で幸多いことを心からご祈念申し上げます。



敬老者数（70歳以上） 5,343人

◆◆◆節目年齢の方◆◆◆

満85歳	168人	満88歳	83人
満95歳	13人	満100歳以上	11人

（令和2年9月現在）

商工会 県内初の壮年部設立

今回は、令和2年7月30日に設立されました町商工会の壮年部部长で花常にお住まいの大鹿功さん（56歳）に、お話を伺ってきました。



―初代部長のお気持ちは。―

まず、商工会会長を初めとする先輩方や青年部の皆さまには、部長の任をお受けできたことを、心より感謝いたします。

初代として身の引き締まる思いです。

―どのような団体ですか。―

壮年部活動の価値は何かを部員の皆さまと一緒に考え、発展させていこうと考えています。

商工会の青年部を45歳で卒業すると、商工会に携わることが難しくなります。60歳まで継続して活動ができるよう、壮年部を立ち上げました。

壮年部は全国各地で立ち上がっていますが、県内では初めてです。現在はコロナ禍

のため、正直なところ活動はできていませんが、自己成長や多様な人脈の形成、また、商工会だけでなく、町の発展につなげていければと考えています。

―今後やりたいことは。―

壮年部の目標は、

①地域社会の健全な発展を図る商工会活動の一翼を担います。

②次世代への地域経済発展の支えとなります。

③新しい文化的創造によって、豊かで住みよい郷土づくりに貢献します。

④積極的な交流活動に取り組むため、異業種交流会を実施します。

交流会は情報収集したり、人脈の拡大やビジネスのスキルアップにも繋がると考えます。

一人ひとりの発揮できる



昨年の商工会「はるウィン祭り」

大治町商工会

地区内における商工業の総合的な改善発達を目指しています。

会員数672人 壮年部40人
内部組織として他に青年部、女性部があります。

（令和2年10月現在）

ことは小さいことかもしれない。他と交流を深め、大きな組織になることで町の大きな支えとなり、商工会や壮年部がなくてはならない存在になるのではないのでしょうか。

今後、私たちにもメリットがあり、町にとってもメリットのある壮年部の第一歩を踏み出します。ご協力を、よろしく願います。

―最後に一言。―

壮年部のスローガンに「感謝」を選びました。感謝なくしては、人は人として完成できません。故に、感謝とは教育・勉強であります。私を含め壮年部全員で付加価値を見つけ、感謝の気持ちを忘れず前に進んでいきたいと思えます。

本日は、ありがとうございます。

商工会壮年部の発展は、地域の発展、また町の発展にもつながっていきますので、これからも大いなる活躍を期待します。

暫時休憩

あの豪雨から20年…

平成12年9月11日、夕方ごろから降り出した雨はやむ気配もないほどひどく、瞬く間に道路は冠水し、床上・床下浸水の被害が多数出た。消防団や地域の人々が動けなくなった車を移動させたり、通行人を避難させている光景が目に見え付いている。



当時は、田畑も多くあり、人口約2万7千人、世帯数約9千3百世帯だった。20年経った今年9月現在では、人口約3万3千人、世帯数約1万4千世帯に増加し、保水地でもあった田畑の多くは宅地になった。

豪雨は、各地で起こっている。

今年9月7日には大雨で町内の一部道路が冠水して、通行止めになった。また、豪雨対応のため、議会の一般質問も遅れて午後からとなった。

東海豪雨の後に生まれた子が、成人式を迎える。節目の年に、想像もしていなかった新型コロナウイルスという目に見えない敵が出現した。コロナに負けず、それぞれの道を進んで行ってほしい。

感染者数は少なくなってきたものの、終わりはまだ見えない。これからの季節、インフルエンザにも警戒しなければならぬ。

インフルエンザとコロナの同時流行を防ぐ目的で、予防接種の費用を補助する。



「新しい生活様式」が提唱されている時だからこそ、気付く事もある。

今だからやれる事もある。

今しかやれない事もある。

明るい明日に向かって…

（写真はすべて東海豪雨の時のものです）